

重点目標	具体的取組	評価の観点	達成度判断基準	評価結果			学校関係者による判定結果	学校関係者によるコメントなど	分析(成果と課題)及び後期に向けての改善策	
1 生徒との信頼関係を深めつつ意欲関心を引き出す授業改善による学力向上	① 各教科で、節または章毎に小テストを実施や、宿題を課したりして、日常での学習習慣を身に付けさせる。	家庭で学習する習慣が身に付き、ほぼ毎日1時間以上家庭学習または校内での自学自習を行っている生徒が50%になる。	毎日、家庭学習や自学自習を1時間以上行っている生徒が、 A 60%以上である。 B 50%以上である。 C 40%以上である。 D 40%未満である。	生徒 達成度判断基準 50%以上	保護者 1時間以上		A 良い B まあ良い(1) C あまり良くない(4) D 良くない		本校生徒のこれまでの実態を考慮すると、今年度の目標が少し高かったのではないかと分析している。目標に少しでも近づけるように、まずは考查期間中の学習時間について1時間以上が50%となるように取り組みたい。また、平日に関しては各教科に適切な課題を与えてもらえるように依頼していきたい。(教務)	
	②	節または章毎に小テストの実施や課題等を与えている。	節または章毎に小テストの実施や課題等を適切に与えている。 A 良くあてはまる。 B まああてはまる。 C あまりあてはまらない。 D まったくあてはまらない。	生徒 学校からの課題や宿題をしている。 前期 49%	保護者 学校からの課題や宿題をしている 前期 48%	職員 達成度判断基準 A+B 80%以上	A 良い(2) B まあ良い(1) C あまり良くない(2) D 良くない	・保護者が少ないのは把握しにくいからだと思う。	7月15日に実施した第1回授業評価の結果については、11月6日の中間報告で公表し、その後、全生徒と保護者に公表する予定である。その後では生徒にアンケートをとり、生徒の実感を調査して、12月17日予定の第2回授業評価における改善へとつなげていきたい。(教務)	
	③	生徒による授業評価を実施し、指導法の改善や教材の研究を行う。	生徒の授業評価の結果、指導法の改善や教材研究が行われ、生徒にも授業改善が行われているという実感がある。	授業評価により授業が改善されたと答えた生徒が、 A 60%以上である。 B 50%以上である。 C 40%以上である。 D 40%未満である。	生徒 達成度判断基準 B 50%以上		職員 授業評価により授業改善を行っている 前期 100%	A 良い(4) B まあ良い C あまり良くない D 良くない(1)	・類似アンケート結果を聞いて良いと思いました。 ・アンケート未実施により判断できない。	11月9日に生徒・保護者に第1回授業評価を公表し、その後生徒にアンケートを実施する予定である。
	④	公開授業や研究授業を積極的に行い、授業改善を図る。	公開授業や研究授業に向けて指導案の作成や教材研究を進め授業改善を図る。	公開・研究授業に向けて教材研究を行い、授業改善を図ることができた。 A 良くあてはまる。 B まああてはまる。 C あまりあてはまらない。 D まったくあてはまらない。			職員 達成度判断基準A+B 80%以上 前期 62% 評価 ×	A 良い(3) B まあ良い(2) C あまり良くない(1) D 良くない		公開授業は、6月と11月に3~4日間行い、今年度は新たに全員が期間中一つの指導案を提出して充実したものとなっている。研究授業については後期に集中しているので今後の取組となる。
	⑤	各クラスに『珠実の100冊』を含めた学級文庫を設置し、読書に関心をもち、読書を楽しむ習慣を身に付けている生徒の拡大を目指す。	『珠実の100冊』を含めた学級文庫を設置することにより、読書の習慣や疑問を抱いた時など、自ら図書館へ足を運び調べる習慣を身に付けている生徒の拡大を目指す。	『珠実の100冊』を含む学級文庫を利用し、本を借りる数がクラスの月平均貸出冊数で、 A 40冊以上である。 B 30冊以上である。 C 20冊以上である。 D 20冊未満である。	生徒 達成度判断基準 30冊以上			A 良い B まあ良い(3) C あまり良くない(1) D 良くない(1)	・予想より多い冊数なので良いとしました。 ・20冊~30冊でもびっくりした。 ・場所の設置場所の問題 ・本が好きな生徒は限られているので、少ないとは思いませんでした。 ・学級文庫を借りた生徒が実際に読書しているのか、ただ借りたと言う実績だけになっていないか疑問である	図書だよりや生徒玄関の図書コーナーを利用して、生徒に足を運んでくれるよう展示などでアピールしているのだが、なかなか足を向けてくれないのが現状である。しかし、4階の図書室には出向かなくても、各教室の学級文庫を朝読書の時間等で活用している生徒もおり、今後の図書館利用につながるよう、生徒の興味関心が高い図書を精選し、学級文庫の設置を継続していく。(図書課)
⑥	朝の10分間読書の時間を利用し、『読み聞かせ』を実施し、静かに聴く態度を身に付ける。	『読み聞かせ』に耳を傾け静かに聴くとともに、物語の内容に興味を示し、理解する。	『読み聞かせ』に興味を持って静かに聴くことができる。 A 良くあてはまる。 B まああてはまる。 C あまりあてはまらない。 D まったくあてはまらない。	生徒 達成度判断基準 A+B 80%以上			A 良い(1) B まあ良い(2) C あまり良くない(1) D 良くない	・もう少し生徒に顔が見えない相手の話を聞くことが社会に出てどれだけ大切か、難しいか訴え、何を訴えたいのか理解できるように自分なりに課題を持ちながら聞くように伝えれば良い。	クラスメイトが民話の読み聞かせをするなど、いろいろ工夫しているが、興味を持って聞いている生徒が5割を切っているのは残念である。11月の3年1組による読み聞かせが最後となるが、耳を傾けてくれる内容を選び、読み聞かせ前に相手の話を聞くことの大切さを訴えて実施したい。(図書課)	

重点目標	具体的取組	評価の観点	達成度判断基準	集計結果			学校関係者による判定結果	学校関係者によるコメントなど	分析（成果と課題）及び後期に向けての改善策	
2 一人ひとりが主役となる生徒会活動とたくましい体力づくりの推進。	①	高校生らしい身だしなみと基本的な生活習慣を確実に身につける。	【成果指標】 登校指導により、頭髪や服装の乱れた生徒への指導ができた。	登校時には服装や頭髪などでほとんど注意を受けず、きちんとした身だしなみができている生徒の割合が、 A 90%以上である。 B 70%以上である。 C 50%以上である。 D 50%未満である。	生徒 服装身だしなみはきちんとしている	保護者 生徒達の服装や身だしなみはしっかりとしている	職員 達成度判断基準 B 70%以上	A 良い(2) B まあ良い(2) C あまり良くない(1) D 良くない	・部活動との差がありすぎる。他校ではあるが、ピアスが気になる。 ・だらしく思う生徒はあまり目にしなくなりました。(生徒指導)	生徒の自覚と本来の姿にギャップがある。生徒保護者の意識の低さを感じるが、要所要所ではきちんと出来るので、今後継続した登校指導等で生徒の更なる変化を期待したい。(生徒指導)
	②		職員の共通理解が得られ、しっかりとされた挨拶や服装ができるように日々指導が行われる。	挨拶や服装の乱れなど、不十分な生徒に改善がみられた。 A 良くあてはまる。 B まああてはまる。 C あまりあてはまらない。 D まったくあてはまらない。	生徒 指導が行われている	保護者 指導が行われている	職員 達成度判断基準 A+B 70%以上	A 良い(1) B まあ良い(2) C あまり良くない(1) D 良くない(1)	・学校を出ると乱れがちである。生徒、保護者の指導意識が薄い。	面接指導等での挨拶や服装の指導のおかげで少しは成果があったと思う。今後社会人になるにあたってさらに挨拶や身だしなみが必要であることを訴えていきたい。(生徒指導)
	③		再検査で指導を受ける生徒がいない。	粘り強く指導を行い、指導依頼書を渡す生徒が A 0となった。 B 3人以下となった。 C 5人以下となった。 D 6人以上となった。			職員 達成度判断基準 B 3人以下	A 良い(2) B まあ良い(3) C あまり良くない D 良くない	・粘り強く指導するしか方法はないのか	先月までの頭髪検査では、指導を受ける生徒の数は少なくなってきたが、就職の内定がではじめてから、気持ちの緩みか、少し多くなった。進路や今後珠洲実高校の卒業生としての自覚を促し、指導していきたい。(生徒指導)
	④	携帯電話の校内使用をほぼ0にさせる	校内での携帯電話の無断使用をなくす。	月別の携帯電話の預かり件数が、 A 0件になった。 B 3件になった。 C 5件になった。 D 6以上になった。			職員 達成度判断基準 B 3件以下	A 良い(3) B まあ良い(2) C あまり良くない D 良くない	・石川県との条例の関連は、 ・だいぶ前ですが、職員室で携帯電話をしている先生を見てびっくりしたことがありました。今はそれも当たり前になり判断基準がよくわかりません。	条例では小中学校では特別な理由がない限り、持たせないとなる。高校においては所有させる際フィルタリングをかけ入学時には保護者の誓約書を提出させる動きになっている。本校では月別預かりが3件以下で使用上のマナー・ルールが出来ていると思う。今後も機会がある毎にサイバー被害にかからない取組や啓発活動をしていきたい。(生徒指導)
	⑤	職員・生徒が環境問題を意識し、環境保全・美化活動に積極的に取り組むことが出来る。	清掃活動を協力しながら積極的に行っている。	清掃活動を協力しながら積極的に行っている。 A 良くあてはまる。 B まああてはまる。 C あまりあてはまらない。 D まったくあてはまらない。	生徒 達成度判断基準 A+B 70%以上		職員 達成度判断基準 A+B 70%以上	A 良い(5) B まあ良い C あまり良くない D 良くない	・地域清掃も見受けられる。鶴飼駅の美化意識を。	鶴飼駅の清掃は生徒会の活動の一つとして、週一度行っている。(厚生)
	⑥	珠洲市での環境保全活動について講演や施設見学を行い生徒の意識を高める。	リサイクルや環境保全活動について理解でき、意識を高める事が出来る	リサイクルや環境保全活動について理解出来た。 A 良くあてはまる。 B まああてはまる。 C あまりあてはまらない。 D まったくあてはまらない。	生徒 達成度判断基準 A+B 70%以上	保護者 リサイクルや環境保全について理解している		A 良い(3) B まあ良い(2) C あまり良くない D 良くない		夏期休業中に見学会を予定していたが、3年生しかいないため進路指導上、実施できなかった。(厚生)
	⑦	文化祭には、昨年同様、卒業生や元PTAの方に協力してもらい、展示や販売等を行う。	学校行事の中心は生徒である。より一層充実した行事にするために、各方面のいろいろな方の協力をいただくことができた。	充実した文化祭にするために、協力を得た団体が A 10団体以上 B 7団体以上 C 5団体以上 D 全く得られなかった。			職員 達成度判断基準 B 7団体以上	A 良い(1) B まあ良い C あまり良くない(3) D 良くない(1)	・文化祭縮小はやむを得ないとはいえ本当に残念である。 ・過剰反応しすぎではないかと。特に最後だったので。 ・インフルエンザにより、未実施は大変残念でした。しかし、その中でも思い出に残る物とと思っていましたが、当日知らなかったことが多々ありPTAの中で戸惑いが生じまとまりがなくなりました。	一般公開が出来なかったのが、「達成」とは言えないが、進路としては10団体以上の参加が確認できていたので、目標は「達成」したと分析している(進路)

	⑧ 生徒一人ひとりが意欲的に学校行事に参加できるよう工夫し、学習以外の活躍の場を設け達成感や充実感を得られるようにする。	学校行事やクラス行事を活性化する。	学校行事やクラス行事に、 A 生徒会を中心に企画・運営し、生徒全員が積極的に参加している。 B 企画された行事にほとんどの生徒が協力して参加している。 C 企画された行事には参加している。 D 教師に促されて参加する生徒がいる。	生徒 生徒会行事に積極的に参加した。  85%	保護者 生徒会行事に積極的に参加している  60%	職員 達成度判断基準 B以上  前期 B 評価 <input type="radio"/>	A 良い(4) B まあ良い(1) C あまり良くない D 良くない	・学校も地域にアピールしてはいかかなものか。	生徒会が協力し積極的に動いてくれた。準備から運営、片付けまで全員で取り組まないという行事が成り立たないという自覚が芽生え、一人一人が自分のことで行事に参加していた。陸上競技大会、ボーリング大会、文化祭、3校合同運動会と回を重ねると徐々に、まとめ役も現れてきた。
	⑨ 登校時の挨拶運動や行事などを通して生徒会が範となり、卒業までに社会人として恥ずかしくない挨拶を身に付ける。	きちんとした挨拶や言葉遣い、礼儀の指導を日常的に実施する。	きちんとした挨拶や言葉遣いの指導を日常的に実施し、 A 指導の成果が得られた。 B 一定の成果が得られた。 C 効果があまりなかった。 D 指導が徹底できなかった。		職員 達成度判断基準 A+B 80%以上  前期 100% 評価 <input type="radio"/> 職員 指導は行っている 100%	A 良い(3) B まあ良い(1) C あまり良くない(1) D 良くない	・これは珠洲実生徒はきちんと教育され、すばらしい、気持ちの良い挨拶をするので立派であると思う。 ・部活をしている生徒との差があります。一部教員の中にも生徒と変わらない人も中にはいます。	外部の方からの評価は高いが、職員に対しては少し親近感があり過ぎる。後半は、いつでもきちんとした挨拶が出来るように指導重点項目を検討していく。	
	⑩ 三校(中島・輪実・珠洲実)合同行事を通して初対面の人とのコミュニケーション能力を身に付ける。	他校の初対面の生徒と親交を深め、卒業時の新生活に適応できるようにする。	三校合同行事で、 A リーダーが育ち、行事が円滑に行われた。 B 行事が円滑に行われた。 C なんとか行事が行われた。 D 他校と交わらず、自分達だけで行事が行われた。		職員 達成度判断基準 B以上  前期 A 評価 <input type="radio"/>	A 良い(4) B まあ良い(1) C あまり良くない D 良くない	・おそらく珠洲実の生徒は3校の中でも一番楽しくみんなと協調して参加したと思います。	事前に数回打ち合わせを行い、生徒会が親しくなったことで行事がスムーズに進行した。班別にしたことで他校生徒への声掛けもしやすかった。人見知りが多い本校生徒なので不安そうだったが、運動会ということもあり一緒に楽しむ間にうまくコミュニケーションを取れるようになっていた。いろんな経験を通して少しでも抵抗感を無くし、積極性を身に付けて欲しい。	
	⑪ 継続 体力テストを通して、体力の向上と健康の保持増進に向けて取り組むことができる。	体力テストの結果A、B判定の生徒を増やす。	体力テストの結果 A A、B判定の生徒が50%以上 B A、B判定の生徒が45%以上 C A、B判定の生徒が40%以上 D A、B判定の生徒が40未満		職員 達成度判断基準 B以上  前期 A 評価 <input type="radio"/>	A 良い(4) B まあ良い(1) C あまり良くない D 良くない		体力テストの結果A、B判定の生徒は64%であった。3年連続で、向上しており、一校一プラン体力アップの成果が現れた。今後体育の授業を中心に体力向上と保健指導をしていきたい。	

重点目標	具体的取組	評価の観点	達成度判断基準	集計結果	学校関係者による判定結果	学校関係者によるコメントなど	分析（成果と課題）及び後期に向けての改善策		
3 働く意義を考えさせ、自立した社会人をめざすキャリア教育の推進。	①	進路決定に関する面接・面談を行う。	生徒との個人面談および保護者との三者面談を行い、希望にかなった進路決定を行う。	生徒の進路決定に関して、 A 生徒、保護者の希望を把握し、指導ができた。 B ある程度の指導が出来た。 C あまり出来なかった。 D 全く出来なかった。	保護者 学校の進路指導は適切である 88%	職員 達成度判断基準 A+B 80%以上 前期 38% 評価 ×	A 良い(2) B まあ良い(2) C あまり良くない(1) D 良くない 未記入(1)	・保護者の解答の数値がより現実に近い数値と思います。 ・保護者と職員との判断の差が気になります。	アンケートは全教員におこなった。この結果については進路指導課・担任は生徒と直接面談するので、生徒保護者の希望が把握できるが、他の先生方は一部の生徒(担当や部の生徒)しか把握できないので達成度が低い結果になった。改善策は進路未決定者の面接指導を実際の面接時と同じような形式(個人面接でも面接官は2~3人)を取り入れたり、職員会議で進路決定状況を報告することで、生徒の具体的な希望や動向を知ってもらえるように努める。(進路)
	②	朝のS.H.Rを利用して進路に関する一般常識問題を1学期に週3回実施する。	一般常識問題の問題に意欲的に取り組み、着実に正解率が向上した。	一般常識問題を継続的に学習することで、効果があった。 A 良く当てはまる。 B まあ当てはまる。 C あまり当てはまらない。 D 全く当てはまらない。		職員 達成度判断基準 A+B 60%以上 31H、32H担任より 評価 ○	A 良い(3) B まあ良い(2) C あまり良くない D 良くない		担任の方には大変な負担であったと思うが、生徒に日頃から進路を意識させることが出来たと思う。改善策は例年内定後の指導が問題となっているので、マナー教育などを指導することも考慮中である。(進路)
	③	進路決定に向け、自分の高校生活を見据えて、生活設計する力を養う	定期考査及び進路達成に向けて、計画を立てて学習することが出来る。	定期考査・進路達成に向けて学習計画を立てることが出来た生徒の割合が、 A 80%以上である。 B 70%以上である。 C 60%以上である。 D 60%未満である。	生徒 達成度判断基準 定期考査 A+B 70%以上 前期 45% 評価 ×		A 良い B まあ良い(3) C あまり良くない(2) D 良くない		進路達成に向けて計画的に取り組んでいる生徒の数はまあまあであるが、定期考査に向けての学習はまだまだ足りないのが現状である。学習時間調査を今後も続けていくことによって計画的学習の必要性を生徒に訴えていきたい。(教務)
	④	3年生に面接や実技の指導を行う。	生徒へ実践的な指導を行うことで就職に向けて生徒が自信をもつことが出来るようにする。	生徒へ作文や面接などの実践的な指導が、 A 12回以上の指導が出来た。 B 10回以上の指導が出来た。 C 8回以上の指導が出来た。 D 6回以上の指導が出来た。		職員 達成度判断基準 B 10回以上 指導した回数が10回以上 前期 77%	A 良い(4) B まあ良い(1) C あまり良くない D 良くない	・出来ればもっとたくさん指導してほしい。	特に放課後、先生方には連日面接指導をしていただき感謝しています。放課後、会議や部活動で面接指導が出来ない時もたくさんあることを考えると本当に良く協力してもらっている。改善策は今後進路希望者の面接指導もあったり、3-①の形式での指導を取り入れているので、12回以上はクリアされる。(ありがたいと思っている)(進路)
	⑤	専門高校の生徒として、より高い資格取得をめざす。	個人の資格取得計画を立てて、着実に学期初めより上位の資格を取得することが出来る。	計画の実現に向けて、努力し成果を得ることが出来た生徒の割合が、 A 80%以上である。 B 70%以上である。 C 60%以上である。 D 60%未満である。	生徒 達成度判断基準 B 70%以上 前期 58% 評価 ×	保護者 資格取得に向けて計画的に学習している 66%	A 良い(4) B まあ良い C あまり良くない(1) D 良くない	・これは生徒自身のため、そして、珠洲実高の得意分野と思うのもう少し数値が上がってほしかった。 ・校内で資格取得を張り出しては。	今年の3年生は、これまでの生徒に比べて、若干資格取得においては劣っている傾向がある。その要因の一つに取りかかるのが遅い点がある。進路指導で面接等の指導に対して、直前にならないと動き始めない。動き始めると、積極的に取り組む者が多い。改善策として、後期は生徒に進路先等との関係も含めて、資格取得の必要性を説明し、一つでも多く、一つでも上位の資格を取るよう指導したい。(商業)

重点目標	具体的取組	評価の観点	達成度判断基準	集計結果		学校関係者による判定結果	学校関係者によるコメントなど	分析（成果と課題）及び後期に向けての改善策	
4 地域の発展に寄与し、地域文化の創造に貢献する多様な教育活動の推進。	① 珠洲の実商店の積極的な地元イベントへの参加	珠洲の実商店の取組が地域へ理解され、出店依頼が昨年度より増えた。	外部のイベントに、 A 10回以上出店した。 B 8回以上出店した。 C 6回以上出店した。 D 6回未満であった。			職員 達成度判断基準 B 8回以上 前期 5回 評価 ×	A 良い(2) B まあ良い(1) C あまり良くない D 良くない(2)	・予算が少ないと思われる中、よく頑張っている。 ・出店依頼が増えた割には参加出来なかった。	イベントの参加はデビュー(2月であるが)した、珠洲まるかじり、見附桜祭り、能登空港、音楽交流フェスティバル(学校1日、飯田1日)金商デパート、今月に予定されている産業教育フェアを入れると7回出店している。例年教育ウイークに出店していたのがなくなり、珠実祭での出店も出来なかったのが少ないように感じるのではないかと(商業)
	② HPの内容の充実を進める	1ヶ月に1回は更新する。	HPの更新が、 A 3週間以内に1回更新できた。 B 4週間以内に1回更新できた。 C 5週間以内に1回更新が出来た。 D 5週間を超える間隔で更新した。	生徒 ホームページを見ている 24%	保護者 ホームページを見ている 37%	職員 達成度判断基準 B 4週間以内に更新 前期 C 評価 ×	A 良い B まあ良い(3) C あまり良くない D 良くない(2)	・少ない職員で多忙の中良くやっていると思う。 ・生徒に任してみればどうか。 ・事情を聞きやむを得ないこととしました。教員が少ない事の大変さが伝わってきました。	1学期はほぼ4週間毎に更新は出来ていた。夏期休業中の更新ができなく、全体では5週間に一度の更新となってしまった。
	③ 携帯用HPをとおして必要な情報を発信する。	携帯用のHPが保護者に認知され、必要な情報が保護者へ届いている。	携帯用のHPにより、学校からの情報が保護者へ、 A 十分伝わっている。 B 伝わっている。 C あまり伝わっていない。 D 伝わっていない。			職員 達成度判断基準 A+B 60%以上	A 良い B まあ良い(1) C あまり良くない D 良くない(2) 未記入(2)	・これも多忙の中仕方ないことだと思う。 ・携帯は必要だったのか。	携帯用のHPについては担当者が熟知していなかったため、目標を達成することができなかった。今度は更新しやすく、携帯でも見ることができるブログを作成し情報提供を行う。
	④ 花いっぱい運動に意欲的に参加させ、花の世話により、心豊かな人間性を育む。	生徒がプランターの世話や花いっぱい運動に参加した。	花いっぱい運動プランターの世話が出来た生徒の割合が、 A 50%以上である。 B 40%以上である。 C 30%以上である。 D 30%未満である。	生徒 達成度判断基準 B 40%以上 前期 9% 評価 ×			A 良い B まあ良い(1) C あまり良くない(1) D 良くない(2) 未記入(1)	・生徒達も少人数で勉強、部活動と大変だと思います。 ・生徒が少ない上、ほとんどの生徒が部活動に励んでいます。仕方がないかなと思います。 ・地域の人を巻き込んで指導してもらえば良かったのではないかと。 ・花への思いがない場合、水やりは大変な作業であると思うので、9%いただけでも十分だと思います。	交通機関の関係で朝の水遣りの時間が確保できないため、どうしても限られた人が当番になってしまった。しかし、夏休みなどは声掛けすると協力してくれた。花に興味が無いのが現状で、積極的にする生徒はいなかった。3年間花植えをし、毎日玄関で眺めていたので、これから興味を持ってもらえたらいいと思う。
	⑤ 鵜飼駅・見附海岸清掃を実施し、地域の一員としての意識を持たせ、地域との連携を図る。	地域に開かれた学校づくりを推進し、地域から評価される。	定期的な清掃などが、 A 地域から評価されている。 B 地域から一定の評価を得ている。 C 地域にはそれほど評価されていない。 D 地域の評価が低い。			職員 達成度判断基準 B 以上 前期 B 評価 ○	A 良い(3) B まあ良い(2) C あまり良くない D 良くない	・鵜飼駅の清掃のことと初めて知ったときは感動しました。生徒達がいなくなったときに大人達が続けていけるのか。時々見に行っても出来ることをしたいと思います。町内の人間としてもとても感謝しています。	本校は、掃除を嫌がる生徒は少ない。今年の見附海岸清掃の参加率は例年以上に高かった。鵜飼駅の清掃も交代できちんと行ってくれた。後半も鵜飼駅清掃は継続し、地域に少しでも貢献したい。
	⑥ 独居老人宅の不都合な箇所の改善や、生徒ができる簡単な修理を行うとともに、珠洲を支えてきた人々と触れ合うことで心豊かな人間性と郷土を愛する心を育む。	自分たちの学んだことが実際に社会に役立つことが確認できた。  ボランティアとして地域に定着した活動となった。	生徒が学んだことが、 A 大変役立つことが確認できた。 B 役立つことができた。 C あまり役立たなかった。 D 役立たなかった。  地域に根ざした活動として評価された。 A よい評価をうけた。 B 十分な実施効果があった。 C あまり効果がなかった。 D 実施できなかった。			職員 達成度判断基準 A+B 70%以上 予算がなく未実施 職員 A+B 70%以上 予算がなく未実施	A 良い B まあ良い(2) C あまり良くない D 良くない(1) 未記入(2)  A 良い B まあ良い(2) C あまり良くない D 良くない(1) 未記入(2)	・予算が少ない中ではどうしようもないと思う。 ・予算が少なければ商店会などに協力を求めても良かった。 ・財政難がこんな所にも影響している事を知り、心が痛みました。  ・予算が少ない中ではどうしようもないと思う。 ・予算がなくても出来るボランティアはたくさんあると思います。学校として動くのは難しいでしょうか。	毎年、市の社会福祉協議会に申し込みを依頼しているが、今年は申し込みが出来なかった。